

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

地域社会に対してどこまでも誠実な奉仕に徹し、経営基盤の強化によるグループ全体の企業価値向上を目指す

営業利益増
134.8%

経常利益増
158.1%

山陽放送営業利益
4億8,166万円

② 中長期の経営戦略

1. グループ内連携強化

グループ各社の連携を強化し、コンテンツ制作を中心に新規事業も研究してグループ利益最大化を図る

3. 保有資産の有効活用

賃貸不動産物件確保と金融資産投資により、長期的な資産価値維持と安定収益を実現

2. 放送設備の持続性確保

中継局共同利用やミニサテライト局共同利用、次世代マスター・放送システムの構築に取り組む

4. 放送事業の盤石化

新規事業やデジタル関連事業といった新たな収益の柱を構築し持続可能な未来を築く

③ 対処すべき課題

① 放送業界における信頼性確保

- ・ 緻密な情報収集と綿密な情報分析により地域課題解決に取り組む必要
- ・ 選挙報道等における情報の多角性と発信力への対応

② 放送設備維持管理コスト削減

- ・ 業界・系列を挙げた改革への対応と中継局共同利用の推進
- ・ ミニサテライト局共同利用と小規模中継局助成活用による更新

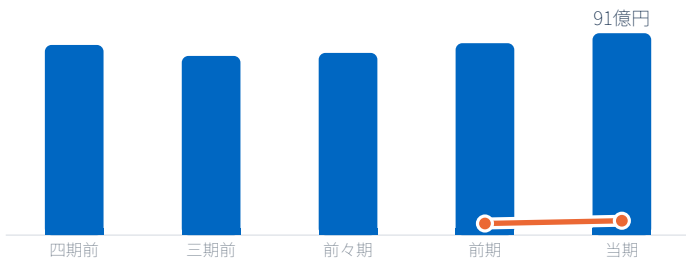
③ コーポレートガバナンス強化

- ・ 2026年1月制定の民間放送ガバナンス指針への対応と同年4月施行へ向けた体制整備
- ・ 人権意識向上と人権尊重の取り組み強化が会員各社に求められている

面接で使えるポイント

- ・ ラジオ部門で4年ぶりに前年実績を上回る売上達成など、グループ各社の連携強化による成果
- ・ 2025年の日本総広告費が8兆623億円で4年連続過去最高更新される中での地域メディア戦略
- ・ 2022年度から2025年度で営業利益134.8%増、経常利益158.1%増を達成した保有資産活用

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高
91億円営業利益率
7.1%財務健康度
70点 / 100点

将来性 曇り / 就活偏差値 53.1（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

